

# エネクス株主通信



社会とくらしのパートナー

伊藤忠エネクス株式会社

証券コード 8133

第53期中間期事業のご報告 2012年4月1日から2012年9月30日まで

## エネクスグループがめざす新たなステージ エネルギーのベストミックス提案型企業

### Contents

トップメッセージ	2
セグメント別情報	5
グループ中期経営計画の進捗	7
トピックス	8
連結財務諸表	12
会社概要/株式の状況	13
株主の皆様へのお知らせ	14

# 社会の変化・ニーズに対応して進化し続ける「くらしのパートナー」



## 産業マテリアル事業

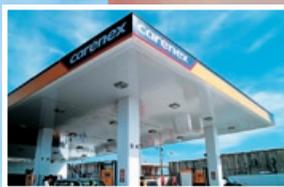


石油・LPガス・天然ガス・電力・熱供給などの「産業用エネルギー」、アスファルト・セメントなどの「産業用資材」の販売を中心に、法人のお客様へ最適なエネルギーソリューションをご提案。また環境負荷の低いエネルギー転換もご提案しております。



## カーライフ事業

エネルギー商社として国内No.1規模の2,179カ所の系列CS(カーライフ・ステーション)に、ガソリン、灯油、軽油、オイルなどを販売するとともに、多様化するカーライフニーズにお応えし、人と車が快適にくらせる社会を実現します。



## グローバル事業

石油製品の輸出入と国内販売事業を展開。また国内外の主要港で船舶用燃料を販売し、業界トップレベルのシェアを誇ります。さらにタンカーの備船・運航をグローバルに展開。海外事業開発にも積極的に取り組んでおります。



## ホームライフ事業

全国100万世帯のご家庭や法人企業のお客様に、LPガスと都市ガスをお届けするとともに、生活関連商品を提供し、豊かで快適な暮らしを支援。さらに、太陽光発電システムや家庭用燃料電池「エネファーム」の販売にも取り組み、グリーンエネルギーの普及を促進しております。



## トータルライフ事業

太陽光発電システムや家庭用燃料電池「エネファーム」、家庭用リチウムイオン蓄電システムを販売。くらしを豊かにする多彩なエコエネルギーをお届けすることで、住まいと車が融合した新しいライフスタイルを提供します。



## グループ中期経営計画「Core & Synergy 2013」の基本方針を踏襲しながら新たなステージを目指します。

代表取締役社長 岡田 賢二

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第53期中間期における日本経済は、不安定な世界経済などを背景に先行きが不透明な状況が続き、エネルギー業界におきましても業界全体が転換期を迎えております。

このような状況の下、当社はエネルギーのベストミックス提案型企業として、グループ中期経営計画「Core & Synergy 2013」に掲げるコア事業の強化・高度化、電力関連事業や熱供給事業などの新規事業への参入を果たしました。

私は本年6月に代表取締役役に就任いたしました。少子高齢化などを背景に国内市場が大きく変化中、その変化にいかに対応するかが最も重要な経営課題であると考えております。今後もグループ中期経営計画「Core & Synergy 2013」の基本方針を踏襲しながら変化に柔軟に対応し、新たなステージを目指してまいります。



**ま**ず、コア事業における成果・取り組みをご説明いたします。

アスファルト販売事業におきましては、前期より基地を増設するなど流通機能の拡充を進めてまいりましたが、さらなる供給力の強化を図るべく、9月にアスファルトタンカーを竣工し、10月には千葉県袖ヶ浦に日本最大級の規模を誇る基地を新設いたしました。

またカーライフ事業におきましては、各エリアの基幹店舗となる「情報共有拠点」として16CSを選定し、情報及び経営ノウハウを共有するネットワークを構築いたしました。これによりグループ会社直営CS及び販売店の垣根を越えたシナジーを創出し、収益の最大化を目指します。

## コア事業の強化・高度化と新規事業を着実に展開していきます。

さらに東日本大震災の復興支援活動の一環として、宮城県利府町に災害対応型エネルギー配送拠点である「絆ネットセンター」を開設いたしました。当センターは自家発電設備を備えているため、災害時にも医療機関といった公共施設や老人養護施設

などにエネルギーを安定供給し、支援することが可能となります。

LPガス販売事業におきましては、前期に実行いたしましたグループ会社の統合による合理化が効果を発揮するとともに、エリア戦略の推進により収益基盤の構築を図りました。

**次**に新規事業におきましては、電熱供給事業は震災後の電力需給バランスのタイト化及び稼働率向上による増販が寄与し、前年同期を上回る実績を達成することができました。また東京電力株式会社から東京都市サービス株式会社の株式66.6%を取得し、新たにグループに迎えたことで、熱供給事業に参入いたしました。同社は電力需要のピークシフトやエネルギーコストの低減と低炭素化等のノウハウを有しており、今後は当社グループのコア事業である石油製品・LPガス販売事業とのシナジーを追求してまいります。

創造型需要ビジネスの展開といたしましては、住まいと車を融合した施設である「eコトショップ」の全国3店舗目である「eコトショップ姫路しかま」をオープンいたしました。

以上のように、これまで行ってきた取り組みの成果が徐々に

に見え始め、エネルギーのベストミックス提案型企業としての土台が整いつつあります。

**当**社グループは50年以上にわたり石油製品やLPガスを中心としたエネルギーをお客様にお届けし、安定した業績を積み重ねてきました。しかし業界も世の中も大きく変化する今、私たちは失敗を恐れずに果敢に挑戦し、変化に対応しなければなりません。たとえばコンビニエンスストアは、時代とともに24時間営業や公共料金の取扱い、ATMなどの社会や生活者が必要とするサービスを導入し、進化してきました。それと同様に、私たちはCSをエネルギー供給だけの場所ではなく、地域のエネルギー拠点として災害時にもエネルギーの安定供給を実現するとともに、車に関するあらゆるサービスをご提供するワンストップショップへとイノベーションしてまいります。

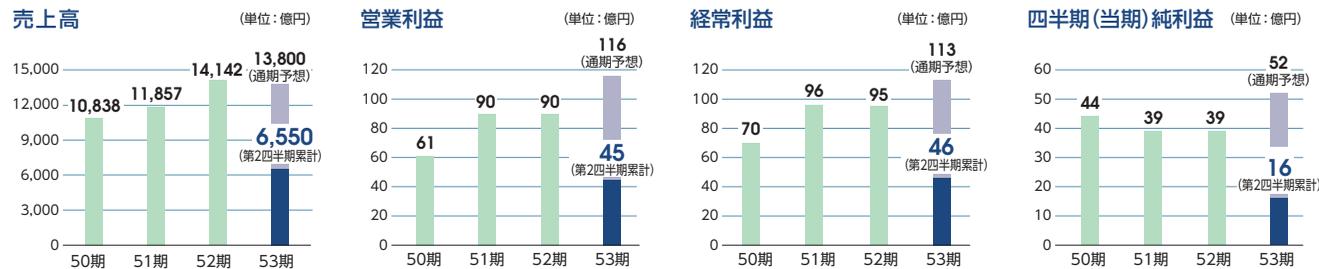
成長が続くアジア市場を視野に入れて事業展開を推し進めていきます。

考えております。グループ最大の強みであるリテール分野のノウハウを活かしながら、海外における事業基盤を確立し、さらなる事業拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### Financial Highlights



**今**後の方針として、当社をさらにグローバルな視点を持った企業、高度な海外事業展開を推進できる企業に変えたいと考えております。日本国内の市場が縮小する中、特にアジア各国は高度成長の波に乗り、モータリゼーションの真っ盛りにあります。またエネルギー需要は旺盛ながらも供給が追い付かず、慢性的に電力不足が続いております。そのような状況の中、私たちはこれまで培ってきたノウハウやスキルを活かし、アジア各国の皆様にもエネルギーの恵みをお届けすることでお役に立てると

### 2013年3月期連結業績予想

売上高	1兆3,800 億円
営業利益	116 億円
経常利益	113 億円
当期純利益	52 億円

当社グループは、グループ中期経営計画「Core&Synergy 2013」の2年目をスタートし、

コア事業である石油製品・LPガス販売の強化と高度化に取り組みました。

また、電力関連事業やトータルライフ事業を中心として生活者視点による創造型需要ビジネスの推進に努めました。

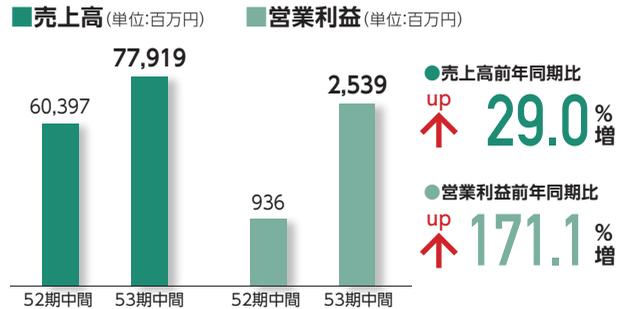
その結果、売上高は6,550億43百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は44億59百万円(同35.5%増)、経常利益は46億5百万円(同23.8%増)と増収増益でした。

### 最適なエネルギーソリューションをご提案する 産業マテリアル事業

主な取扱商品 灯油、軽油、重油、アスファルト、LNG、高圧ガス、熱、電力

#### 当中間期の概況

- 石油製品販売事業では、販売数量が前年同期を上回った。
- アスファルト販売事業では、タンク新設や新造船竣工などの流通機能拡充により、販売数量が前年同期を上回った。
- 電熱供給事業では、増販が寄与し、損益面も前年同期を上回った。

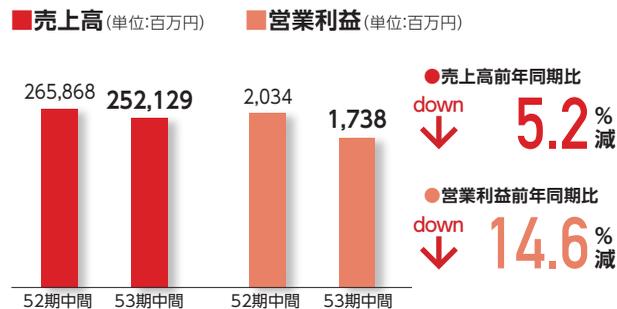


### すべてのカーライフニーズにお応えする カーライフ事業

主な取扱商品 ガソリン、灯油、軽油、オイル

#### 当中間期の概況

- 昨年度からの復興需要の収束、低燃費車の普及拡大などにより、販売数量は前年を下回り、損益面でも厳しい結果となった。
- 当中間期におけるグループCSは2,179ヵ所(前期末より22ヵ所純増)。

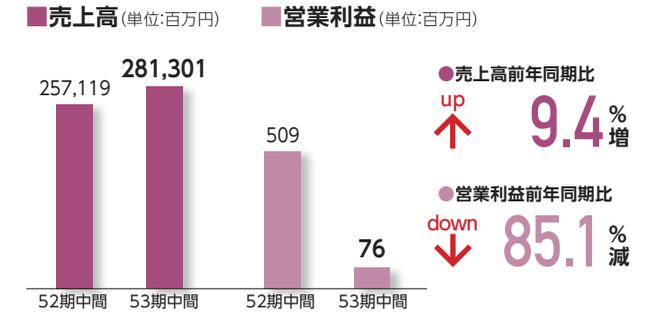


### 石油製品輸出入事業などをグローバルに展開 グローバル事業

主な取扱商品 ガソリン、灯油、軽油、重油

#### 当中間期の概況

- 石油製品トレード事業は市況低迷による影響などを受け、損益面で厳しい結果となった。
- タンカー備船事業では、保有船コストの低減や自社支配船の運航効率化を進め、利益の確保に努めた。
- 船舶燃料油販売事業は外航船・内航船向けともに堅調に推移。

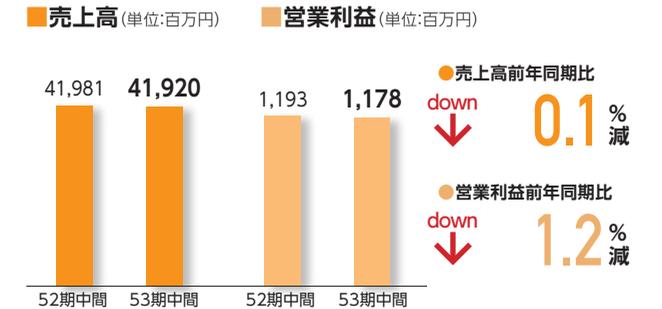


### 全国に家庭にガスエネルギーを届ける ホームライフ事業

主な取扱商品 LPガス、灯油、ガス機器、生活関連商品

#### 当中間期の概況

- 全国的に気温が高めに推移したが、グループ会社統合効果などにより直売顧客軒数が増加。家庭用LPガス販売数量は前年同期を上回った。
- LPガスの新たな需要創造となる家庭用燃料電池「エネファーム」、太陽光発電システムの販売について、専任体制による営業力の強化を実施。

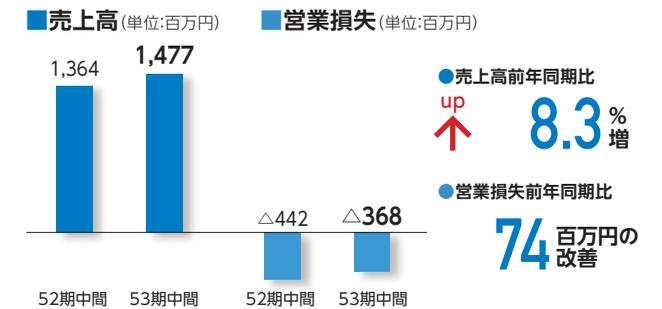


### エコエネルギーを使った、新しいライフスタイルを提案 トータルライフ事業

主な取扱商品 太陽光発電システム、エネファーム、家庭用リチウムイオン蓄電システム

#### 当中間期の概況

- グループ会社や販売店を核として太陽光発電システムや家庭用燃料電池「エネファーム」の拡販に努めた。
- 家庭用リチウムイオン蓄電システムについては、LPガス販売店での販売のほか、新たな販売ルートを開拓。
- 「eコトショップ」の3店舗目となる「eコトショップ姫路しかま」をオープン。



グループ中期経営計画

**Core&Synergy 2013**

～変革の実行を通じて新たなステージへ Phase II～

新たなステージとしてエネルギーのベストミックス提案型企業への移行を目指す、グループ中期経営計画「Core&Synergy 2013」も中間地点を越えました。これまで実行した主な取り組みをご紹介します。

コア事業の強化・高度化

- ①グループ会社再編によるLPガス販売事業のエリア戦略強化。
- ②CS経営改善プログラム「ACTプログラム」の推進。
- ③四国ガスエネクスを新設、LNGビジネスを強化。
- ④アスファルト基地新設、タンカー竣工。アスファルト供給網の強化。
- ⑤アドブルー供給網を全国へ拡大。
- ⑥産業用ガス販売事業における昭和電工グループとの業務・資本提携。



エネルギーのベストミックス提案型企業へ

- ①JENホールディングス株式会社の設備投資による発電能力の強化。
- ②グループ内での電力供給をスタート。
- ③東京都市サービス株式会社をグループ会社化、熱供給事業に参入。
- ④家庭用リチウムイオン蓄電システムを販売。
- ⑤太陽光発電システム、家庭用燃料電池「エネファーム」の販売拡大。



創造型需要ビジネスの展開

- ①トータルライフ事業本部を新設。
- ②電動バイク「e-runner」の販売開始。
- ③住まいと車を融合した施設「eコトショップ」を開設。
- ④「イツモレンタカー」「イツモカーネット」加盟店数の拡大。



海外事業への積極展開

- ①世界規模で事業を展開するグローバル企業への変貌を目指して、海外プロジェクト開発部を新設。
- ②IP&Eパラオ社に出資し、太平洋地域での石油製品輸入卸売事業に参画。

中長期的な災害復興支援

- ①自治体／民間企業との協働による復興支援プロジェクトの立ち上げ。
- ②災害復興ボランティア活動の実施。
- ③地方自治体へ復興支援金を寄付。
- ④災害対応型エネルギー配送拠点「絆ネットセンター」の開設。



アスファルト物流機能の強化

アスファルト運搬船「Black Dragon」竣工、  
袖ヶ浦アスファルト基地新設

アスファルト運搬船「Black Dragon」



- 積載量:2,300トン
- 船籍:パナマ
- 全長:79.99m
- 幅:14m
- 航路:主に韓国～日本
- 竣工:2012年9月

昨今アスファルトの国内市場は2002年をピークに縮小傾向にありましたが、東日本大震災の復興需要などを背景に需要は高まり、重要な産業用資材としてその役割が見直されています。

このような状況の下、当社は今年に入ってからアスファルト基地3カ所、アスファルトタンカー1隻を竣工。積極的な投資

によりアスファルト物流機能を自社で保有し、ロジスティクスを拡充することで供給体制をさらに強固なものにいたしました。また2013年4月には新たにもう1隻の新造船が竣工する予定です。

当社は全国のお客様へアスファルトを安定供給する使命を果たすとともに、今後もシェアの拡大に努めてまいります。

■全国のアスファルト基地

全国13拠点、  
総貯蔵量39,000トン



- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| ①留萌アスファルト基地 | ⑧福岡アスファルト第1基地 | ⑫種子島アスファルト基地  |
| ②釧路アスファルト基地 | ⑨福岡アスファルト第2基地 | ⑬奄美大島アスファルト基地 |
| ⑤姫路アスファルト基地 | ⑩佐世保アスファルト基地  |               |
| ⑥櫻島アスファルト基地 | ⑪加治木アスファルト基地  |               |

新規アスファルト基地



- |  |  |  |
|--|--|--|
| ③苫小牧アスファルト基地<br>運用開始:2012年2月<br>所在地:北海道苫小牧市<br>タンク容量:3,800トン | ④袖ヶ浦アスファルト基地<br>運用開始:2012年10月<br>所在地:千葉県袖ヶ浦市<br>タンク容量:10,000トン | ⑦大阪アスファルト基地<br>運用開始:2012年3月<br>所在地:大阪府大阪市<br>タンク容量:2,500トン |
|--|--|--|

## 熱供給事業への進出

東京都市サービス株式会社が  
当社グループの一員に

本年5月、当社は東京都市サービス株式会社(以下、TTS)をグループ会社化し、熱供給事業へ参入いたしました。TTSは、熱源プラントにおいて製造した冷水や温水を、地域導管を通して区域内の複数の建物に供給する熱供給事業とその関連事業を行っています。熱供給センターを17カ所運営し、熱供給事業における省エネ技術は国内トップレベルを誇ります。また、電力需要のピークシフト、エネルギーコストの低減や低炭素化等のノウハウを保有し、未利用エネルギーを活用する分野のパイオニアでもあります。

TTSを通じて当社グループに熱供給事業という新たなエネルギー提案が加わるとともに、「業務用」領域のお客様が当社グループの販売ネットワークに加わりました。今後も既存事業とのシナジー効果を追求しながら、顧客ニーズに合わせた最適なエネルギー提案を展開してまいります。

## 地域熱供給システム 概念図

TTSの熱供給センターは、電気式で高効率な蓄熱式ヒートポンプシステムを採用しています。

このシステムでは、高効率ヒートポンプで夜間に製造した冷水や温水を蓄熱槽で蓄え、冷暖房が最も使われる昼間に冷水や温水を複数の建物へ送り出し、冷暖房に利用します。

省エネルギー効果によるCO<sub>2</sub>排出量の削減に加えて、災害時の消防・生活用水としての機能など、様々な社会的メリットをもたらす点でも注目されています。

さらに、未利用エネルギーの活用として、河川水・下水処理水・地下水などが持つ熱を利用している地区も運営しており、国内トップレベルの省エネルギー実績を維持しています。



## グループシナジー

病院や老人ホーム、オフィスビル、商業施設など「業務用」のお客様が当社グループの販売ネットワークに新たに加わるため、顧客層が広がります。

さらに全国に広がる当社グループの販売ネットワークを活かし、新たな顧客層に対してTTSの熱供給事業やアイスバンク事業をご提案し、事業を拡大することも可能となります。

またTTSの各プラントで使用する一般高圧ガス、不凍液、潤滑油もグループ内から調達でき、シナジーが発揮されます。

## アイスバンク事業(蓄熱受託サービス)

TTSでは、建物ごとに熱源設備・蓄熱槽を設置するアイスバンク事業も展開しています。

地域熱供給事業と同様、夜間に冷温水を製造、蓄熱槽に蓄え、昼間に使用することで、高い省エネ効果を発揮します。

特に温浴施設、老人ホーム、スポーツクラブなど、冷暖房と給湯を頻繁に使用のお客様には、最適なサービスとなっております。

また、お客様が導入しやすいよう、設備はTTSが保有し、費用については初期投資不要の定額制、メンテナンスもすべてTTSが行います。

このように、地域熱供給事業で培った高度な技術を活かし、様々なサービスを展開しております。

## 東北エリアにおける 災害対応型エネルギー配送拠点 「絆ネットセンター」運営開始

当社は東日本大震災の復興支援活動の一環として、宮城県利府町に災害対応型の配送センター「絆ネットセンター」を開設いたしました。当センターはエネルギーの自給自足が可能な太陽光発電システムや自家発電機を備えているため、災害時にも運営が可能となります。平時は医療機関、老人養護施設、復興現場などに灯油・軽油・重油を小口配送し、非常時には利府町の要請により緊急度の高い機関・避難所などに配送することになっております。

今後は当センターをハブ基地として、東北エリアの12カ所の災害対応ステーションと12カ所の緊急復旧ステーションと連携し、当社販売店も含めたグループネットワークとしての防災ノウハウを構築。災害に備えた体制を強化し、地域社会に貢献してまいります。



9月に開催された開所式では、岡田社長、エネクスフリース（株）社長、鈴木利府町長らによる調印式も執り行われ、利府町との防災協定が締結されました。

9月に開催された開所式では、岡田社長、エネクスフリース（株）社長、鈴木利府町長らによる調印式も執り行われ、利府町との防災協定が締結されました。



設備	地下タンク100KL (灯油30KL・軽油30KL・A重油40KL) ローディングアーム 3基、 配送用ローリー 5台(順次増車)
	12.5KVAディーゼル発電機、太陽光発電システム、 リチウムイオン蓄電システム、可搬式小型発電機、 衛星電話等

当社の様々な取り組みをご紹介します。

### 「エネクスレポート2012」を発行しました。

「エネクスレポート」は、「会社・事業案内」と社会・環境面での活動報告書である「社会・環境報告書」を1冊にまとめたものです。多方面の読者の関心にお応えするとともに、ステークホルダーの皆様に対する説明責任を果たす観点から、当社グループの様々な活動を一体的に編集しております。ご希望の皆様にお送りさせていただきますので、ぜひご覧ください。送付のご依頼は当社ホームページにて受け付けております。



エネクスグループの2012年度第2四半期業績と財務状況をご報告します。

#### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2012年9月30日現在)	前期 (2012年3月31日現在)
流動資産	166,570	197,877
固定資産	125,196	107,175
有形固定資産	85,132	73,634
無形固定資産	11,046	6,842
投資その他の資産	29,016	26,698
資産合計	291,766	305,053
流動負債	136,345	173,145
固定負債	53,776	35,817
負債合計	190,121	208,962
資本金	19,877	19,877
資本剰余金	18,736	18,736
利益剰余金	65,876	65,186
自己株式	△ 1,749	△ 1,749
株主資本合計	102,741	102,050
その他有価証券評価差額金	△ 1,277	△ 1,030
繰延ヘッジ損益	△ 136	△ 3
土地再評価差額金	△ 7,619	△ 7,627
為替換算調整勘定	△ 1	19
その他の包括利益累計額合計	△ 9,034	△ 8,641
少数株主持分	7,938	2,681
純資産合計	101,645	96,090
負債及び純資産合計	291,766	305,053

#### 四半期連結損益計算書及び包括利益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	前第2四半期累計 (2011年4月1日～ 2011年9月30日)
売上高	655,043	627,453
売上原価	623,057	596,830
売上総利益	31,985	30,622
販売費及び一般管理費	27,526	27,332
営業利益	4,459	3,290
営業外収益	863	951
営業外費用	716	522
経常利益	4,605	3,718
特別利益	26	111
特別損失	631	717
税金等調整前四半期純利益	4,000	3,112
法人税、住民税及び事業税	2,066	1,156
法人税等調整額	△ 148	426
少数株主損益調整前四半期純利益	2,081	1,529
少数株主利益	479	219
四半期純利益	1,602	1,310
少数株主損益調整前四半期純利益	2,081	1,529
その他の包括利益	△ 400	89
その他有価証券評価差額金	△ 247	△ 36
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 153	126
四半期包括利益	1,681	1,619

#### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	前第2四半期累計 (2011年4月1日～ 2011年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,352	6,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,084	△ 3,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,644	△ 5,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 23	6
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	98
現金及び現金同等物の期首残高	15,312	23,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,202	22,085

- 会社名 伊藤忠エネクス株式会社
- 英文社名 ITOCHU ENEX CO.,LTD.
- ホームページ <http://www.itcenex.com>
- 本社所在地 〒108-8525 東京都港区芝浦三丁目4番1号
- 設立年月日 1961年(昭和36年)1月28日
- 資本金 198億7,767万円
- 従業員数 単体 666名(関係会社への出向者198名含む)  
(2012.3.31現在) 連結 3,408名

● 主なグループ会社

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 東京都サービス(株)     | (株)エコア              |
| 伊藤忠工業ガス(株)     | 伊藤忠エネクスホームライフ関東(株)  |
| JENホールディングス(株) | 伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株) |
| エネクスリゾート(株)    | 伊藤忠エネクスホームライフ中部(株)  |
| (株)九州エナジー      | 伊藤忠エネクスホームライフ東北(株)  |
| エネクス石油販売西日本(株) | 伊藤忠エネクスホームライフ関西(株)  |
| エネクス石油販売東日本(株) | 伊藤忠エネクスホームライフ北海道(株) |
| (株)東北タンク商会     | エネクスオート(株)          |
| 小倉興産エネルギー(株)   |                     |

● 役員

- |                        |                       |                 |                |
|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|
| 取締役会長<br>小寺 明          | 取締役(兼)常務執行役員<br>高木 正信 | 監査役<br>難波 修一    | 執行役員<br>鶴岡 敏幸  |
| 代表取締役社長<br>岡田 賢二       | 取締役(兼)常務執行役員<br>中山 昭生 | 常務執行役員<br>堤 浩二  | 執行役員<br>小田部 宏一 |
| 代表取締役(兼)専務執行役員<br>土井 章 | 取締役(兼)常務執行役員<br>夢野 裕之 | 常務執行役員<br>清水 文雄 | 執行役員<br>尾崎 信介  |
| 代表取締役(兼)専務執行役員<br>新井 博 | 取締役<br>豊島 正徳          | 執行役員<br>陣内 裕人   | 執行役員<br>松塚 啓一  |
| 取締役(兼)常務執行役員<br>田中 豊   | 常勤監査役<br>両角 秀一        | 執行役員<br>山田 耕二   |                |
| 取締役(兼)常務執行役員<br>長尾 達之介 | 常勤監査役<br>石射 嘉一        | 執行役員<br>林田 弘    |                |
| 取締役(兼)常務執行役員<br>中村 日出男 | 監査役<br>田中 雅康          | 執行役員<br>高嶋 正次   |                |

● 株式総数及び株主数

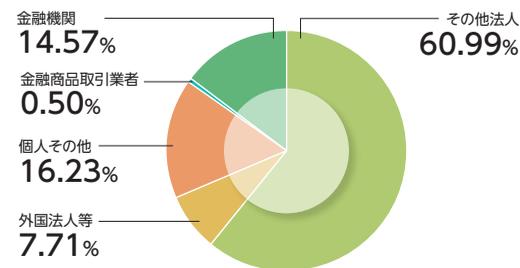
発行可能株式総数・……………387,250 千株  
発行済株式の総数・……………116,881 千株  
株主総数・……………9,423 名  
<前期(2012年3月末)比75名増>  
1単元の株式数・……………100 株

● 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	60,947	52.15
エネクスファンド	3,504	3.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,879	2.46
日本生命保険相互会社	2,203	1.88
JXホールディングス株式会社	2,009	1.72
三井住友信託銀行株式会社	1,974	1.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,819	1.56
伊藤忠エネクス従業員持株会	1,738	1.49
シナネン株式会社	1,570	1.34
株式会社損害保険ジャパン	979	0.84

※持株比率は自己株式(3,888千株)を控除して計算しております。

● 株式の所有者別状況



配当金のお受け取りについて

中間配当金領収証による配当金の払渡期間は2012年12月6日から2013年1月15日までとなっております。  
口座振込をご指定されていない株主様は、同封の中間配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。中間配当金領収証の表面の受領印欄にご押印のうえ、三井住友信託銀行の本支店の窓口でお受け取りになるか、中間配当金領収証の裏面記載の送金方法欄に必要事項をご記入のうえ、三井住友信託銀行証券代行部までご郵送ください。

配当金領収証を紛失されたら・・・

三井住友信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きに時間を要しますので予めご了承ください。

銀行振込等のご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込等によるお受け取りをおすすめいたします。

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

特別口座株式の口座振替及び単元未満株式について

特別口座のままでは市場で売却することができません。

株券の電子化に伴い、ほふり(証券保管振替機構)に預託していない株券は、特別口座に記録されており、そのままでは売買等を行うことができません。売買等をご希望の場合には、予め証券会社等に株主様ご本人名義の口座を開設(既に開設されている場合は不要です。)し、特別口座から証券会社の開設口座へ振替えていただく必要があります。

お手続きに関する詳しい内容は、下記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。

単元未満株式は市場で売却することができません。

当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としており、お持ちの株式が単元未満株式の場合、市場で売却することができません。当社では「単元未満株式買取制度」を実施しておりますので、ご希望の株主様はご検討のうえ、お手続きください。

お手続きに関しては原則、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。特別口座に記録された単元未満株式に関しては下記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。

※単元未満株式についても証券口座へ振替えていただくことができますが、市場での売買はできません。

お問い合わせ先 特別口座の口座管理機関  
**三井住友信託銀行株式会社** ☎ 0120-176-417 通話料無料 / 平日午前9時～午後5時

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します  
<http://www.itcenex.com>  
(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載して行います)
- 株主名簿管理人 及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417(平日午前9時~午後5時)  
(※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。)
- インターネット ホームページURL 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031  
<http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
- 上場証券取引所 東京(銘柄名 エネクス、証券コード 8133)

### ■ 業績の見通しなど、将来の情報に関する注意事項

この株主通信に記載されている伊藤忠エネクスの業績見通しなど、将来に関する情報は、現段階における各種情報に基づいて当社の経営陣が判断したものであり、実績は、為替レート、市場動向、経済情勢などの変動により、かかる情報と大きく異なる可能性があることを予めご承知おきください。

伊藤忠エネクス株式会社に関する詳しい情報は、  
ホームページで発信しております。

パソコンから

<http://www.itcenex.com>

エネクス

検索

### 株主様向けアンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 8133

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い  
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。  
尚、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ  
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
MAIL:info@e-kabunushi.com



社会とくらしのパートナー

# 伊藤忠エネクス株式会社

〒108-8525 東京都港区芝浦三丁目4番1号 TEL.03-6327-8000



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

